

平成2年11月1日

シルバー

# かわさき

## 第 2 号

(財)シルバー人材センター  
川崎市生きがい事業団

川崎市川崎区堤根34番1  
電話 044(222)1550



### 平均寿命に思うこと

事務局長 岡本圭象

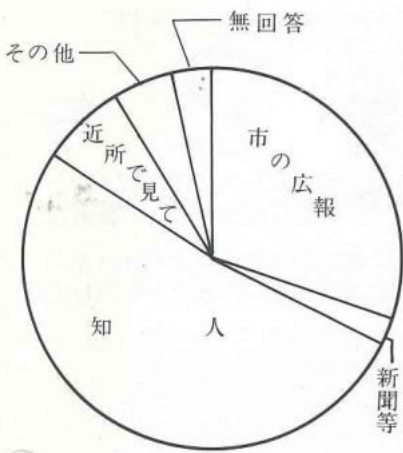
最近世間に少々気になる警告というか子測が飛び交わされている。「四十一歳寿命説」というものである。昭和三十四年以降に生まれた人は、平均寿命が四十一歳になるという大変ショッキングな説である。この世代の人は、飽食や毒物の摂取などで生理機構が狂いはじめ、外界への適応能力が衰えて、過労死、突然死や心疾患による死亡が激増するという。でも現実最新の日本人の平均寿命のデータでは、男性七十五・九歳女性八十一・七歳は長寿世界一、今後も急速に高齢化が進むのは予測ずみのことである。四十一歳寿命説にも外界への適応力が大事とされているのだから、四季のうつろいに心をなごますのもよし、趣味と実益をかねて仕事をするのもよし、地域社会の歯車に乗り遅れる事なく、平均寿命を延ばしていきたいと思う今日この頃である。

委託者意識調査の結果について

事業団では、今まで仕事を依頼して下さった委託者の方達を対象に生の声をお聞きし、事業の向上を目指したいと『委託者意識調査』を行いました。  
その結果が出ましたので遅くなりましたが報告いたします。

アンケート日 平成元年12月15日  
アンケート回収締切日 平成2年1月31日  
発送数 300通  
回収数 210通  
回収率 70%

1、事業団をどこで知りましたか

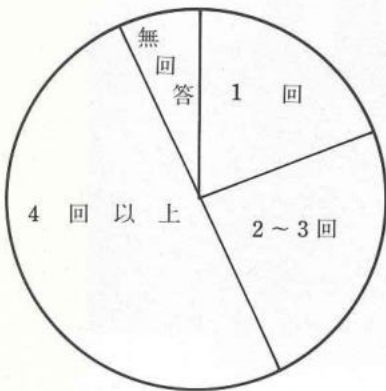


2、事業団の利用は

何年ごろからですか

昭和55年	21件
昭和56年	8
昭和57年	12
昭和58年	19
昭和59年	7
昭和60年	34
昭和61年	11
昭和62年	29
昭和63年	27
今年から	46
無回答	5
合計	210件

3、今までに何回依頼しましたか

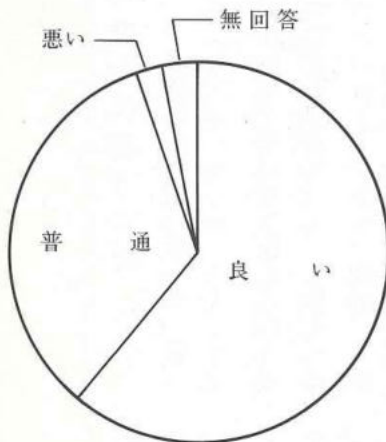


4、何の仕事に依頼しましたか

技能(大工等)	144件
技術(毛筆等)	9
事務	3
製造(旋盤等)	4
管理(駐車場等)	2
折衝外交(店番等)	1
軽作業(清掃等)	87
サービス(家事手伝等)	25
その他	10
合計	285件

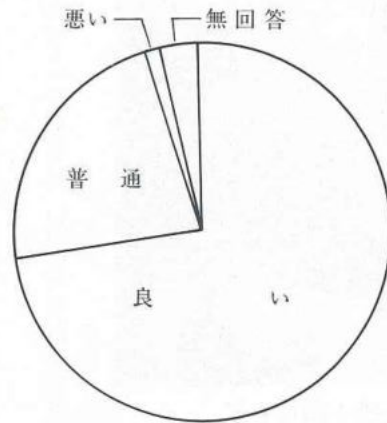
(複数回答)

5、仕上がりはいかがでしたか

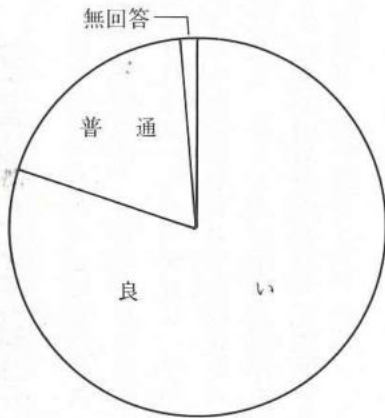


6、作業者の就労態度は

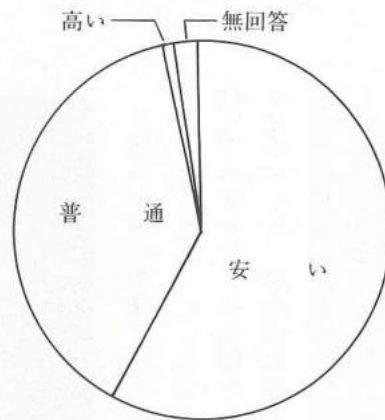
どうでしたか



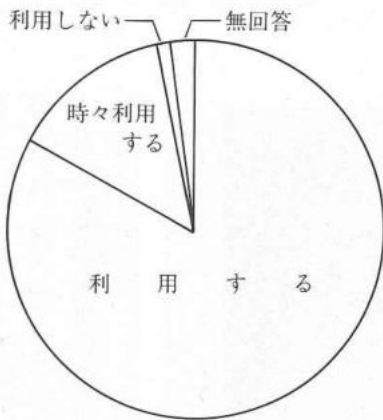
7、事業団の対応はどうでしたか



8、金額はどうでしょうか



9、今後も事業団を利用しますか



ご意見・ご要望の主なものは 次のとおりです。

- 職種により申込みから作業に入るまで長く待たされる。もう少し早くできないか。
- 仕事の仕上がり人が人により大差がある。
- 真面目な人を紹介してもらい助かった。
- 一生懸命仕事をしてくれた。人手不足と聞き作業者の増員を願っている。
- 一生懸命してくれるが高齢のためか仕事が遅く時間がかかり料金に対し少し不満を持つ。
- 事業団から来た人は真面目なので安心。
- 除草は申込みが多いため希望したい日に来てもらえない。
- 仕事の雑な人がいる。
- 家事手伝いはいつも人がいないと断られる。
- 年寄りだからと甘えのある人がいる。お金を払う以上プロの心構えで来て欲しい。
- 誠心誠意の仕事ぶりに感銘している。

以上のようにお褒めの言葉や耳の痛い言葉をたくさんいただきました。

皆さんは、どのような感想をお持ちになりましたでしょうか。

事務局ではこれらのご意見を参考にし、今後の事業の改善、発展のために努力を続けていきたいと思っております。そして、会員の皆さんの今一層の活躍を期待しています。

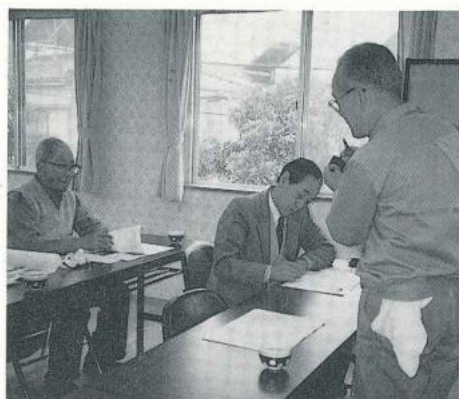
貴重なご意見を有難うございました。

## 表具講習会報告

前号の会報でお知らせしました襖・障子張り講習会は、当初の予定を変更して去る3月1日・2日の両日に、中部地域生きがい事業団登録の生原慶治（はいばらけいじ）さんを講師に迎え、当センター本部兼南部地域生きがい事業団事務所において開催されました。

3月1日 午後1時30分から4時30分  
 南部地域会員 18名  
 3月2日 午後1時30分から4時30分  
 中部・北部地域会員 8名

内容については、時間的な制約がある



一言も聞き漏らさず

関係で、会議室においての一般知識等の講習では、襖の種類や各部の名称及び作業工程の簡単な説明にとどめて、早速作業室での実技指導による講習に入ることになりました。



作業室での実技指導

今回の参加者のほとんどの方は、仕事としてたずさわったことはないもの、自宅での張り替えの経験がある方ばかりと見受けられ、講師の生原さんによる張り替え作業をしながらの手順説明にも大きくうなずきながら熱心に聞き入っている様子でした。

その後何名かのグループに分かれ、実際に張り替え作業を体験していただくことになりましたが、皆さん少しでも多く

のことを学びとろうと先を奪うように作業台の前に立って取り組んでいました。

中には、本職さんばりの刷毛さばきの人もいらっしやって、講師の方にかわって手つきのなれない人に指導したりと、皆さんで意見を出し合ったりして和気あいあいと進みましたが、ひととおりの作業工程を終えたところで、あっという間に終了定時間をむかえてしまいました。

講習終了後講師の生原さんは「大勢の人に受講してもらったが時間がどうしても足らず、考えていたように講習ができなかった。皆さんに満足してもらえたかどうか？」とおっしゃっていました。

参加された皆さんは「早速自宅で実践してみます」と張りきる方や「頭ではわかるけれど思うように手が動かない」と感想を述べる方がおられました。

また「じっくりと教わりたいのもう一度講習会を開いて欲しい」というご意見もたくさんいただきました。

今年度においても違った職種の技能講習会を開催する予定ですので、ふるってご参加ください。

我々の生活しているこの世界では先行きが不確実なこと、不明なことが多いのですが、ただ一つ間違いないことがあります。

それは今生きている人は、必ず何らかの理由で例外なく死亡するのだということです。死亡の話はなにか縁起が悪いと思うかも知れませんが、日本人の健康を考える根本にならうかと考えられます。

ではどのような原因で日本人は死亡しているのか調べてみますと、もう皆様十分ご承知のことと思いますが、昭和六十二年の正式な統計で一位は悪性腫瘍、二位心疾患、三位脳血管疾患でこの後は、肺炎等、不慮の事故、老衰、自殺となっています。

川崎市の場合を六十三年の統計で調べますと、死亡総数は約五千人ですが一位から五位までは国の順位と同じです。また私の勤務している幸区についてみましても、総数は七百人位ですが一位から三位までは同じになっております。

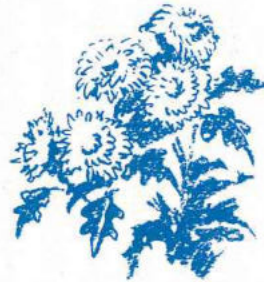
この一、二、三位の順位は何か特別なことが起こらない限り、この先何年か続くと思われています。

ではこの順位は昔からずっと変わらない

かったのでしょうか。決してそうではありませんので、昭和二十五年は一、九五〇名ですが、この時の一位は結核でしてちなみに二位は脳血管障害、三位は肺炎でした。

## 日本人の

### 死亡原因について



川崎市幸保健所長

医学博士

彌富晃一

現在の結核死亡は十位にも入りませんが、戦前より戦後まで若い人々を中心に大変恐ろしい病気でした。積極的な治療はなくきれいな空気の中でただ寝ているだけでしたが、ストマイ、ヒドラジドな

どが次々に出てきましたので、こと死亡という点では激減しています。

しかし全く解消した病気ではありませんので、以前治癒していたお年寄りの再発抵抗力のあまりない学童、学生などの集団感染などが発表されています。川崎市では昭和六十二年は三十五人、昭和六十三年は三十人が結核で亡くなっています。昭和二十六年から昭和五十五年までの三十年間の一位は脳血管疾患でした。いわゆる脳卒中です。昭和四十五年がその曲線の頂上で、徐々に死亡率が低下し昭和五十六年に悪性新生物に抜かれ、昭和六十年には心疾患にも抜かれて現在の三位になっています。川崎市の統計では心疾患に抜かれて三位になるのが昭和六十年からでした。

最盛期の脳卒中は決してお年寄りだけの病気ではなく働き盛りの人々がやられ死亡に至らないまでも半身不随などが残りました。

何故脳卒中が三位に上がったのでしょうか。いろいろ原因は考えられますが食生活の改善、ことに減塩、高血圧の早期発見、治療法の進歩など、医療を含めて公衆衛生の成果といえるかもしれません。

投稿コーナー

会 員 発 。

第三の人生を顧みて

高津区 椎名 要

この度は新しいシルバークワサキの組織や所在地等ご通知頂き温かい情報に感謝しております。私が高齢者生きがい事業団にお世話になって五年の歳月が流れました。

第二の人生は都内で有名なホテルニューオータニに五年間、その他一般企業に七年間七十才まで働き、なお働く意欲がありました。

その後、高津区にありました高齢者生きがい事業団を訪れましたところ快く迎えて頂き、高津区管内五箇所の駐輪場の自転車整理員の職を与えられました。時間は朝六時三十分から八時三十分の二時間でした。

一番困難だったのは冬の寒い日、五時半に起床して現場に到着すると、すでに二十台位の自転車が置いてあり、八時ごろまでには五百台位に自転車が增えるので整理が大変だったことです。駐輪場が

充分活用出来るよう懸命に働きました。

自転車に乗って来る人には「お早う」と暖かく迎え、「いつてらっしゃい」と後ろから声をかけてやりました。そうする内にお互いが顔馴染みとなり、楽しく働かせていただいたことは今でも心から感謝している次第であります。名前も知らない人との接触は、このようにふれあいの場として、働く喜びを心に厚く感じとりました。

職員の皆様に於かれましても充分の意識に立ち、会員のため一心からご支援をお願いする次第であります。

私も八十才を迎え、今しみじみ当時を振り返って、当時の様子をご通知致しご報告致します。

私の第二の人生

高津区 下平 加代

戦前戦後の苦難の中を、明日を信じて生きて参りました。子供四人も東京、横浜へと就職し、私自身も、信州塩尻から川崎に移り市内の東芝本社の食堂に勤め、寮生の昼夜の食事を作る仕事で、後片付けをして帰宅するのは毎日夜の十時過ぎになりました。

その寮も大変古くなり廃止となりましたので、私も六年半務めた会社をやめ、玉川高島屋の従業員専用の売店でパンや牛乳、小物品、食券を販売し、社長さんにもお手伝いしていただいたりと、楽しく働きましたが、先輩の方に意地悪くされ、私も我慢できなくなり三年半でやめました。

しかし社長さんをはじめ皆々様の暖かい思いやりの言葉が今でも残っております。

もう勤めはやめようと思っていたおり生きがい事業団の存在を知り、もう一度頑張ってみようと思いい今日まで働かせていただいております。

仕事先の方々の暖かい思いやりに少しでもお返しできればと毎日を過しております。

また、生きがい事業団の職員の方々もお年寄りを大変大事にして下さり、身にしみてうれしく思っております。

また、少しばかりではありますが、一ヶ月働いた配分金をいただけるのが楽しみで感謝致しております。

まだお元気で働ける方がおられましたら、是非生きがい事業団の方へお誘い合

わせのうえお出掛け下さいませ。

生きがい事業団に応募して

麻生区 加藤敏夫

生きがい事業団に老人でも出来る仕事の紹介を依頼したのは、今年の二月頃であった。

日ならずして掃除夫の仕事を紹介された。月水金、週三日、一回三時間のマンシヨンの清掃である。

自分の部屋さえ掃除したこともなく、今まで自営で働いて税金を納め、三十年専門職で働きながら三男一女の子供達に私大を卒業させて、人生に独立させたと同時に病に倒れ、宮前区内の聖マリアンナ医大に入院加療の末、血液透析を週三回、一日四時間受けることになってしまった。透析開始以来約二年、やっとリハビリで社会復帰のトレーニングを開始する意欲が出てきて、最初の仕事が掃除夫であった。千メートル歩くと息が切れ、電車で出掛けるのさえ大仕事な状態での社会復帰訓練であった。

最初の二週間は文字通り悪戦苦闘の連続であった。グツタリして帰宅すると妻は言うのである。「そんなに無理なら肉

体労働は止めて、免許証があるのだからそれを使ったら」と言う。その免許証とは高等学校英語教諭二級免許証と鍼灸師の免許証である。

而し、どちらも、もう使う気持ちはない。理由はどちらも人間相手で、非常に緊張と集中が必要でものすごく疲れる仕事なので、透析という非常に心身の平衡の乱れやすい治療を一生死ぬまで継続する場合には、やはり金銭の問題ではなく、リハビリと社会に役立ちたいとの念願の充足なのである。そしてなによりも単純労働が一番なのである。鍼灸も英語も共に勉強を更に死ぬまでやらねば責任ある仕事は出来ない。六十五才を越したら社会に対して直接に単純な仕事で働きかけ、透析意外の時間はすべて、詩作、中国古典詩に老子の現代的意味についての著述にふり分けたいのである。

そんなわけで、この四月もやはり掃除に行っている。毎回仕事を終えると必ず今度は、階段の角の金属部分をなで磨くかとか、掃除指示に入ってはなくても庭の散水と雑草の除去をもう始めねばとか、色々と次回の仕事の予定を考えるのが大変なのしい。仕事を終えて帰る時の

充実感と解放感にはなんと心よいものである。

やって見ると掃除といっても自分の心に納得のいくまでやることはどうして仲々完全ということはない。創意と工夫が必要である。

仕事を終えて、ブラブラ高石六丁目の坂を団地坂上に向けて歩いて帰るコースがこれ又実に楽しいのである。多摩区、麻生区一帯に昔から広がっている谷戸谷をのぼる途中の崖の斜面が農道になっている、わずかな面積であるが、道にそって御近所の方が季節の花樹を育てておられる。

三月から四月は正に花の祭典である。梅、桃、こごめ桜、れんぎょう、チューリップ、こぶし、木蓮、べんけい草がほころびつ天の恵に感謝している。地に敷く綿とはこれを言うのかなと思う。

遠くに行かなくとも、町の片隅にこんな素晴らしい楽園がある。心満ちて一日の仕事を終え、花を見、小鳥を観察し帰宅する。疲れるけれども誠に楽しく老後をすごしている。良い仕事を御紹介頂き感謝している次第である。

## 早春譜

宮前区

榎山

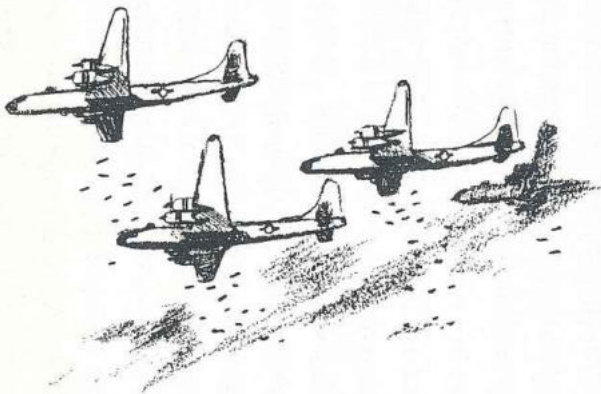
亮

高齢者にとって寒さは身にこたえるものだ。三月は寒の戻りで老人の死亡は毎年のことながら高い率を示しているとのこと、木枯しの吹く秋冬にかけて公園、団地の清掃等に励んでいる高齢者（自分も高齢者の仲間だが）を見るにつけ思う。足の不自由な人も見かける。年齢的に見て今から四十何年前のあのいまわしい戦争の犠牲者も、あの中には居るのではなからうか。軍国主義教育は人命軽視、死は鴻毛こうもうよりも軽しと覚悟せよ。と世間から隔離され、狂信、盲従的教育を受けるので軍国時代は批判力、判断力は皆無と云っている。歴戦の勇士が辛酸をなめ傷を負って、やっと生還した人達に我が家で待っていたのは喰うために働かねばならぬ苦しい生活があるばかりだ。もちろん恩給はあるにはあるだろうが微々たるものらしい。

自分は幸い（昔は幸いなんて言葉を使うことさえ特高ににらまれた時代だったから）丙種で軍人にならずにすんだ。零戦機の下請工場に働き、B29の爆撃音を

聞いて、あわてて田圃の畦道をつつ走って逃げ、山に登ってふり返って見ると、はるか彼方に土煙が数箇所に見え上がつているのが見えた。幸いにして傷も負わず今に到っているが、今の平和の真唯中にいると戦争は遠く幻のごとく彼方へ消えさり、何時までも残るのは戦争の傷あともいえる帰還者老人の傷のウズキであらう。

春の寒さたとえばフキの苦さかな



## 原稿募集!!

事務局では会員の皆さんから広く原稿を募集し、楽しい会報を作りだすと考えています。

- ☆随筆（600字以内）
- ☆紀行文（600字以内）
- ☆私の健康法（600字以内）
- ☆詩、短歌、俳句、川柳等
- ☆四コマ漫画

出来ばえなど気にせず、どしどしお送りください。

投稿をお待ちしています。

◎送り先 各地域生きがい事業団





文芸コーナー

野の道



若き日の苦勞は今懐かしく

アルバムめぐる老し此の頃

川崎区 諸星 久雄

もぎ残る一つの柿に鳥遊び

夕日に映えて細山の里

いくせ経し庭の隅なる柿の木の花を散らして実作りをせん

麻生区 永井 末吉

吾が庭の隅に残りし淡雪に

散って彩どる山茶花の瓣

多摩区 羽生田 数男



木枯らしやアンテナ上で鳥さわぐ

川崎区 諸星 久雄

川上やつた紅葉せる岩の松

幸区 山木 鋭雄

道端や雑木にかかるつるあけび

休日に道具の手入れして仕事待つ

健康の秘訣を聞かれて苦笑する

多摩区 紅林 徳一

秋冷の露ある野菊愛でいたり

多摩区 羽生田 数男

山百合や清らに咲きて匂いまき

柿の花地にとび散るやにはか雨

多摩区 大谷内 眞知子



## 新たな挑戦!

—— 違った仕事をしてみませんか? ——

シルバー人材センターに比較的多く寄せられる仕事はマンション、企業等の清掃や、一般家庭の除草、家事手伝いなどの職種です。これらの職種は委託者の方々に長い間待っていただいたり、やむを得ずお断りしているのが現状です。

仕事に就かれていない会員の皆さん、もう一度登録時の希望職種を見つめ直し、違った分野の仕事に挑戦してみませんか。

今までに経験しなかった仕事に就いてみることで新たな発見、喜びを見出せることがあるかもしれません。

事務局ではこのような希望をもっている方を大歓迎いたします。

また、あなたの周りに健康で働きたいという意欲のある方がおられましたら、ぜひシルバー人材センターへの入会を勧めてみてください。

会員の方々の口コミで一人でも多くの仲間を増やしましょう。

## 行ってみよう

皆さん、表紙の写真の場所をご存じですか?

ここは川崎の最南端の川崎区浮島町にある『浮島つり園』です。一日24時間(夜間照明あり)、年中無休、無料で開放されています。

羽田空港に離着陸する飛行機や、木更津日向航路のフェリーを眺めながら一日ゆっくりと釣り糸をたれてみませんか。

### 行き方

JR川崎駅発、市バス川03系統浮島カ  
ーフェリー行に乗車し、「浮島町公園  
入口」で下車すると、もう目の前が浮  
島つり園です。

### 釣果

秋から冬 ハゼ メバル キス  
春から夏 カレイ シャコ アジ

釣餌は、あらかじめ用意していく方がよいでしょう。また、トイレは隣接している浮島町公園内にあります。



【職員の紹介】

平成2年10月1日現在の職員を紹介いたします。

財シルバー人材センター  
川崎市生きがい事業団 (222) 1550

事務局長 岡本 圭 象  
総務課長 渡邊 弘  
職員 渡邊美佐子  
野口 実

財シルバー人材センター  
南部地域生きがい事業団 (222) 1550

事業課長兼  
所長 岡田 宗一  
職員 丹澤 陽子  
榎本 実  
村田 光彦

(幸区役所内相談窓口)

相談員 木村 敬  
中田 啓

(中原区役所内相談窓口)

相談員 若山 俊雄  
池山 幸義

財シルバー人材センター  
中部地域生きがい事業団 (822) 5031

嘱託職員 川島 伸一  
臨時職員 岡田 信和  
若林 京子

(高津区役所内相談窓口)

相談員 赤池 治  
小塚 茂夫

(宮前区役所内相談窓口)

相談員 金子 敏三  
前田 勝造

財シルバー人材センター  
北部地域生きがい事業団 (951) 1700

所長 渡辺 政仁  
職員 小泉 桂子  
市川 賢司  
臨時職員 渡辺 正  
鈴木 三奈

(多摩区役所内相談窓口)

相談員 羽鳥 義夫  
高久 志郎

(麻生区役所内相談窓口)

相談員 谷口 恒雄  
三浦 三郎

【職員異動のお知らせ】

平成2年5月1日付での川崎市派遣職員の異動に伴い、センター内部において各課長及び所長の異動がありました。

総務課長↓川崎市民生局 小池 澄雄  
事業課長兼南部所長↓総務課長 渡邊 弘  
北部所長↓事業課長兼南部所長 岡田 宗一  
川崎市民生局↓中部所長 深田 泉  
中部所長↓北部所長 渡辺 政仁

【新任職員自己紹介】



中部地域生きがい事業団  
所長 深田 泉

長年、福祉行政に携わってきた私にとっても、健康で就業意欲のある高齢者の方々の多さには大変驚くと同時に、その責任を感じております。「明るい高齢化社会」の実現に向けて私も微力ながら、皆さんのお手伝いが出来ればと考えておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。



中部地域生きがい事業団  
嘱託職員 岡田 信和

こんにちは、7月1日付で中部地域生きがい事業団に勤務することになりました岡田信和です。私の三倍以上も人生経験のある会員の方々と接することは、大変勉強になります。まだまだ若輩者ですが一生懸命頑張りますので、よろしく願います。

# 10周年記念大会

## 開催のお知らせ

当シルバー人材センターもお陰様で10周年を迎えることができました。これを記念して、10周年記念大会を開催いたしますのでご家族お誘い合わせのうえぜひご来場ください。

日 時 平成2年11月27日(火)  
午後1時～4時

場 所 川崎市立中原会館  
(エポックなかはら)

※詳細は同封の黄色いチラシをご覧ください。

### 編集後記

昨年十二月に実施した委託者意識調査の結果を今号の二・三頁に掲載しました。事務局はもちろん、会員の皆さんも委託者の方々のご意見を参考にし、元気に仕事に取り組んでいきましょう。

創刊号で皆さんに原稿募集の呼びかけを行い、どの程度の応募があるか期待と不安で一杯でしたが、予想以上の応募数をいただき編集員も大変喜んでいました。

投稿コーナーは会員の皆さんのページです。健康で働く喜び、旅行をされた時の紀行文、そして日頃思っていることなど何でも結構です。ぜひ作品にして送って下さい。編集員一同、心よりお待ちしております。

寒さの厳しい季節を迎え、仕事先への行き帰りや外仕事など辛い思いをされることも多いかと思いますが、皆さん体には充分気をつけてこの冬をお過ごし下さい。